

日本海洋学会 2014 年度第 5 回幹事会 議事録

日時：2014 年 11 月 12 日（水）13：30～18：00

場所：パレスサイドビル マイナビルーム 9F-E

出席者：植松会長、須賀副会長、岡、神田、小畑、原田、山中、川合（記録）、事務局・毎日学術フォーラム（小野、平坂）

議題：

1. 議事録（案）確認（神田幹事）

2014 年度第 4 回幹事会および 2014 年度秋季大会評議員会の議事録を承認した。

2. 審議事項

(1) 入退会について（岡幹事）

2014 年 8～9 月の入退会について承認した。大きな増減はなく、2014 年 9 月現在の会員数は 1746 名。

(2) シンポジウムの後援・協賛等について（岡幹事）

後援・協賛・公募・推薦・転載許諾などの依頼について、適宜 ML を通じて周知、対処したことが報告され、承認した。大学評価・学位授与機構からの推薦依頼については、会長が候補者を選出することとなった。

(3) 女子中高生夏の学校への参加について（川合幹事）

国立女性教育会館主催の「女子中高生夏の学校」について、日本海洋学会として参加することが提案され、承認した。参加内容および実務は教育問題研究会に一任し、幹事会にて適宜報告を行うこととする。

(4) 海洋観測ガイドライン編集委員会（岡幹事）

海洋観測ガイドライン編集委員会の設置に際し、ワーキンググループから推薦された委員長および委員を承認した。

(5) 2015、2016 年度役員選挙 選挙管理委員委嘱について（山中幹事）

選挙管理委員 5 名への委嘱を承認した。

(6) 大会要旨集販売について（小畑幹事）

大会参加者以外の要旨集購入希望者に対応するため、次回大会以降、要旨集 10 部を学会が購入することが提案され、承認した。

(7) 海洋未来技術研究会からの寄付について（須賀副会長）

本年度で解散することになった海洋未来技術研究会から寄付金をいただいた。同研究会からの助成金による海外渡航援助事業の本年度分残金とあわせて、その用途について議論した。同研究会の支援で作成されてきた宇田賞のメダルを増铸し、残金は来年度の若手支援事業の資金とすることとした。また、来年度以降の若手海外渡航支援については、減額せざるを得ないが、学会として継続

することとなった。

- (8) 学術会議大型研究計画フォローアップワークショップについて（植松会長）
12月27-28日に開催される学術会議大型研究計画についてのフォローアップワークショップにおいて、昨年春に提案した大型研究計画に関する発表が求められており、岡幹事を中心として対応することとなった。また、2015年度春季大会において将来構想委員会を中心とするシンポジウムを開催し、次期マスタープラン策定にむけての意見交換を行うこととなった。
- (9) その他（原田幹事）
学会ウェブサイトの管理にご助力頂いている会員に謝礼を送ることが提案され、承認した。

3. 報告事項

- (1) 会長（植松会長）
大型研究、国際化の推進（AOGS、AGU）、他学会との交流（水産学研連、海洋政策学会）、会員特典（マニュアルの刊行、学会形式の検討）、財政健全化、役員選挙の開始、日本学術会議の会員・連携会員について報告があった。
- (2) 副会長（須賀副会長）
長崎大会期間中に若手懇談会を実施し、若手集会支援に採択された3件の経過報告や学会への要望などの意見交換を行った。若手集会支援の余剰金は返還してもらうことを確認した。また、保留となっていた海外渡航援助1件の妥当性を確認して採択した。
- (3) 編集
 - ① JO（日比谷編集長代理小畑幹事）
順調に刊行しており、課金が開始された8月以降も投稿数に大きな減少は見られない。特別セクション3件についての編集作業も順調に進められている。
 - ② 海の研究（久保田編集長代理岡幹事）
予定通り刊行しているが、査読中の論文数が少ないので、投稿を呼びかけてほしい。
 - ③ ニュースレター（津田編集長代理植松会長）
Vol4-No3を発行した。
- (4) 研究発表（山中幹事）
2016年度春季大会および秋季大会の概要案を、2015年度春季大会評議員会に諮る予定である。東京大学および鹿児島大学の関連会員に開催概要案の作成を依頼する。2015年度春季大会の準備状況について報告があり、幹事会と学会事務局の担当業務を確認した。
- (5) 選挙（山中幹事）

役員選挙および幹事・賞選考委員半数改選・各賞可否投票についての経過および今後の予定が報告された。学会若手 ML でも投票を呼びかける。

- (6) 広報（原田幹事）
パンフレットの増刷を行った。
- (7) 海洋環境問題研究会（鈴木幹事代理小畑幹事）
「沿岸海洋調査アニュアル」の改訂のため、研究会の下に編集委員会を設置した。
- (8) 海洋環境委員会（鈴木幹事代理小畑幹事）
2014 年度青い海助成事業の第 2 次公募を実施したが、応募はなかった。
- (9) 教育問題研究会（川合幹事）
サイエンスアゴラ 2014 に参加した。
- (10) 日本地球惑星科学連合（原田幹事）
2015 年度大会は幕張で開催される予定で、現在プログラムを編成中である。2 割以上を国際セッションとすることを検討している。
- (11) 震災対応（神田幹事）
11 月 21 日に日本学術会議主催の公開シンポジウム「東日本大震災からの水産業および関連沿岸社会・自然環境の復興・再生に向けて」第 2 回が開催される。書籍「原発事故環境汚染 福島第一原発事故の地球科学的側面」(植松会長他編)が出版された。
- (12) 海洋観測ガイドライン WG（岡幹事）
10 月に第 4 回 WG 会合を開催し、編集委員の推薦を行った。12 月 8 日に第 1 回編集委員会を開催し、目次や執筆者について議論する予定である。
- (13) その他（岡幹事）
12 月と 1 月の学会関係業務予定が報告され、確認した。

次回幹事会 1 月開催予定。日時および場所は今後調整。